

横浜市立大学のダイバーシティへの取組み 第2弾

障害者雇用推進室が始動～誰もが活躍できる職場を目指して～

横浜市立大学は学内のダイバーシティ推進の第2弾として、今年度4月から金沢八景キャンパスに障害者雇用推進室を設置しました。「障害者差別解消法」の施行に伴いノーマライゼーションの実現に向け社会の関心が高まる中、障害がある人もない人も共に働きやすい環境づくりを推進します。

昨年12月時点の障害者雇用率は**2.44%***1と法定雇用率*2(2.3%)を達成しておりますが、障害のある職員をこれまで以上に組織の戦力として大学・病院に貢献できる人材として育成し、定着を促すという質的な支援を拡充しています。

*1 実際の障害者雇用数(60.5人) / 算定基礎数(2,484人)

*2 全従業員に対する障害者の割合

一般の民間企業: 2.0% 国・地方公共団体・特殊法人等: 2.3%

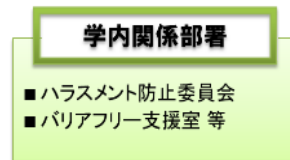
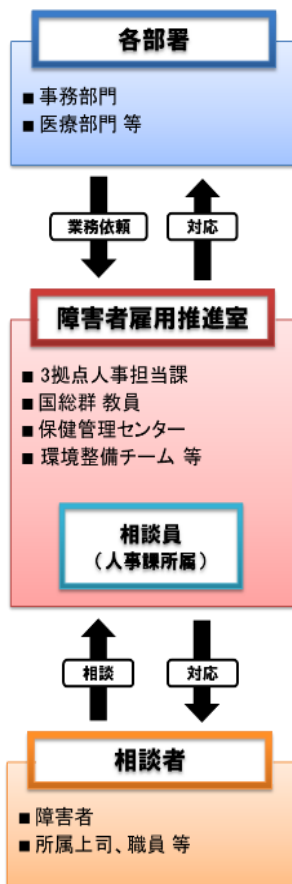
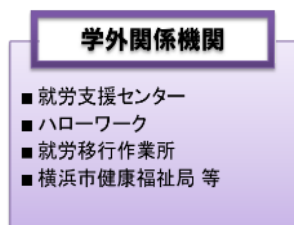


ジョブコーチ(中央)と金沢八景キャンパス環境整備チームメンバー

障害者雇用推進室の概要

【組織体制】

国際総合科学群の教員、大学・附属2病院の人事担当課長及び係長、ジョブコーチ並びに保健管理センタースタッフ 計18名



【重点的な取組み】

- ① 雇用された障害者の業務支援・相談窓口の充実
- ② 組織の戦力として育成、大学・病院への貢献度アップに向けたサポート
- ③ 障害者雇用率の達成及び職場定着支援の拡充
- ④ 障害者差別解消に向けた啓発事業

—環境整備チーム（金沢八景キャンパス）の取組み事例—

中心的な業務

- 清掃（シーガルセンター3階講義室、総合体育館、いちょうの館）
- 庁内メール集配
- 各部署破棄書類のシュレッダー作業

平成28年度に拡充した業務

- 各種封入作業（住所シール貼り、ホチキス止め等を含む）
- 書類の仕分け、ホチキス止め
- パソコン入力作業（遺失物リストの作成）
- 給与明細・各種パンフレットのポスティング・配布
- 駐輪場の整理、自転車撤去
- 各種資料のコピー

今後展開予定の取組み

- パソコン入力業務（超勤簿計算）
- 学生・教職員との交流（学生の作業体験、障害者メンバーの授業・学内イベントでの講演等）
- 地域との交流（防災訓練、瀬戸神社の落ち葉拾い、川周辺の清掃等）

昨年度配置されたジョブコーチから、適宜実演を交えながら効率的かつ正確に作業できるよう支援を受け、日々の業務に取り組んでいます。また、元気に笑顔であいさつすることを心がけ、気持ちの良い職場づくりにも貢献しています。これらのことが評価され、平成27年度には理事長表彰を受けました。

【メンバーの声】

- ・ジョブコーチは自分だけでは気づかないことも丁寧に教えてくれるので、作業を覚えやすい。また、掃除が終わった教室に学生が入って「わぁ、きれい！」という声が聞こえ、とてもうれしい気持ちになります。
- ・清掃は大変だが完了すると達成感を強く感じ、ここで長く働きたいという気持ちが強まります。



YCU
横浜市立大学

お問い合わせ先

人事課長 吉川 雅和 Tel 045-787-2006